

避難生活支援リーダー／サポーター研修（令和5年度：10地区）



○ 令和5年度は、各県に公募を行った上で、以下10県（市町村）を選定

【注】「※」記載のある県は、昨年度（令和4年度）に続いて2年連続で研修実施

都道府県名	広島県	岡山県※	熊本県	岐阜県	静岡県	愛知県※	長野県※	群馬県※	兵庫県	福岡県
実施市町村	広島市	瀬戸内市	八代市	関市	島田市	岡崎市	箕輪町	館林市	三木市	嘉麻市
実施日（予定）	6/17(土)、 18(日)	10/28(土)、 29(日)	10/14(土)、 15(日)	11/11(土)、 12(日)	12/16(土)、 17(日)	1/20(土)、 21(日)	2/3(土)、 4(日)	2/10(土)、 11(日)	2/17(土)、 18(日)	3/9(土)、 10(日)
市町村の人口規模	120万人 (政令市)	3.6万人	12万人	8.5万人	10万人	38万人 (中核市)	2.5万人	7.4万人	7.5万人	3.3万人
参加呼びかけ予定の団体・組織	自主防災会、防災士、消防団員、大学生、中学生防災士等	日本赤十字社岡山県支部、県及び実施市町村社会福祉協議会、日本防災士会岡山県支部、災害支援ネットワークおかやま、「災害時における被災者支援ボランティア協定」締結先16大学等	市登録防災士制度に登録のある防災士等	清流の国ぎふ防災・減災センター、関市災害ボランティア連絡調整会議、岐阜県災害ボランティア連絡会、岐阜県社会福祉協議会、岐阜県共同募金会、岐阜県民生委員児童委員協議会、日本赤十字社岐阜県支部、岐阜県災害派遣福祉チーム（岐阜DWAT）等	県内各大学（静岡大学、静岡県立大学、常葉大学、聖隷クリストファー大学）、島田市社会福祉協議会、静岡県DMAT事務局、静岡DWAT事務局、災害ボランティアコーディネーター等	日本赤十字社、NPO、ボランティア団体、あいち・なごや強靱化共創センター、教育機関、企業等	自主防災組織（町内15行政区）、防災士連絡会、日赤奉仕団、町社会福祉協議会、町防災会議/避難所環境向上専門委員会、町消防団、長野県災害時支援ネットワーク（長野県社会福祉協議会、長野県NPOセンター、長野県生活協同組合連合会等）、日本赤十字社長野県支部、日本防災士会長野県支部等	群馬県社会福祉協議会、館林市社会福祉協議会、日本防災士会群馬県支部、ぐんま地域防災アドバイザー（館林市在住者）、日本赤十字社群馬県支部、DMAT、DWAT、DPAT等の災害時支援チーム（所属医療機関）、館林市内の自主防災組織、館林市防災士連絡会等	兵庫県防災士会、三木防災リーダーの会、日本赤十字社兵庫県支部、ひょうご防災リーダー養成講座の修了者等	防災士会、NPO、社協、ボラセン等
	開催済み					中止				

令和5年度

「避難生活支援リーダー／サポーター」モデル研修実施実績



	受講者数 ※オブザーバー参加者 を除く	修了者数 (2日間の参加者)	名簿登録者数
広島県 広島市	37	35	27
熊本県 八代市	39	37	29
岡山県 瀬戸内市	49	42	35
岐阜県 関市	37	34	32
静岡県 島田市	42	40	39
愛知県 岡崎市	52	50	49
計	256	238	211

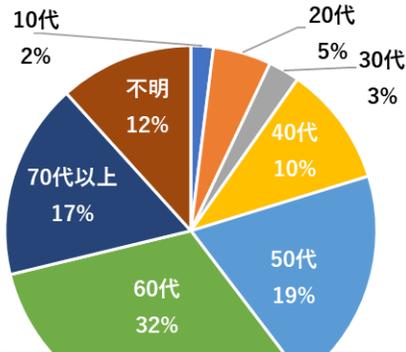


	受講者数	修了者数 (2日間以上参加者)	名簿登録者数
群馬県 前橋市	55	53	45
長野県 上田市	70	57	52
愛知県 美浜町	32	29	28
大阪府 吹田市	42	34	31
岡山県 矢掛町	60	46	36
広島県 広島市	37	35	27
熊本県 八代市	39	37	29
岡山県 瀬戸内市	49	42	35
岐阜県 関市	37	34	32
静岡県 島田市	42	40	39
愛知県 岡崎市	52	50	49
計	515	457	403



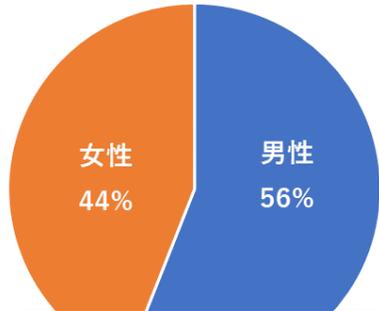
受講者属性（全モデル地域合計）

受講者年齢層（N=259）



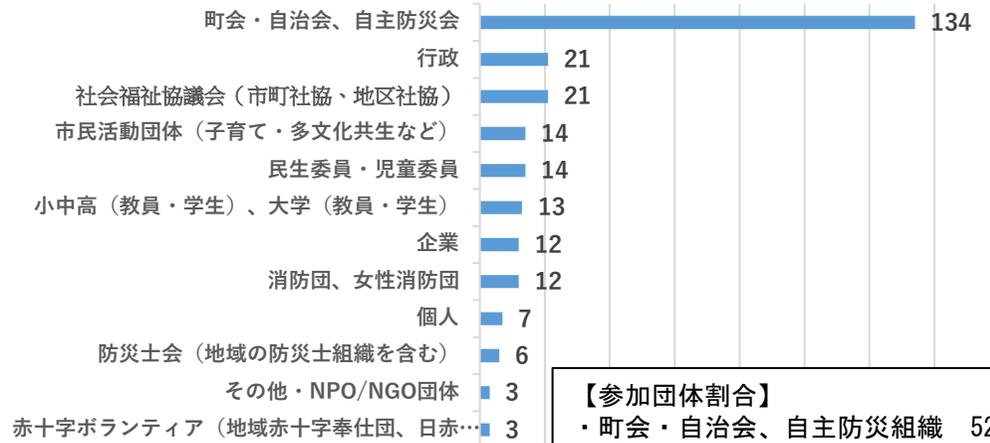
【年齢層】
約半数が60代以上
40代以下は、20%

男女比（N=259）



【男女比】
女性 4 : 男性 6

受講者の所属（N=259）



【参加団体割合】
・町会・自治会、自主防災組織 52%
・行政 8%
・社会福祉協議会 8%

研修先ごとの属性

研修先	受講者特性
広島市	男性33名、女性16名 自主防災会からの参加が約7割を占め、その他 女性消防団、大学生、中学生防災士（オブザーバー）の参加があった。
瀬戸内市	男性27名、女性19名 せとうち防災リーダーからの参加者が約4割、各地の社会福祉協議会からの参加者が約3割を占めた。
八代市	男性23名、女性16名 八代市登録防災士からの参加が半数、その他地域の住民自治協議会からの参加があった。
関市	男性25名、女性10名 自治会連合会からの参加が半数を占めた。その他清流の国ぎふ防災減災センターやNPO団体からの参加があった。
島田市	男性15名、女性18名 男性より女性の参加が多かった。大学生や県内の防災系の市民活動団体からの参加があった。
岡崎市	男性30名、女性29名 トヨタ自動車株式会社など企業からの参加があった。最年少で小学生の参加者もいた。